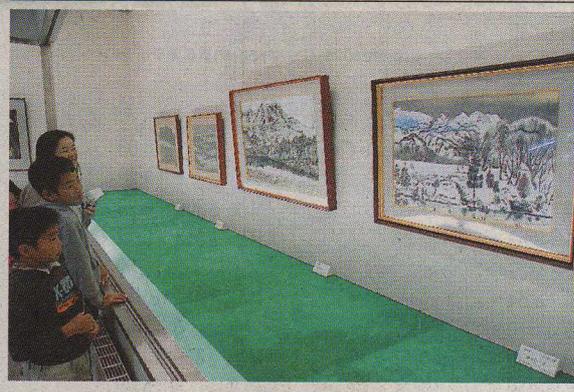


大浦から対岸の駒籠を描いた大作「栗の花咲く最上川・冬」



「最上川」をほはじめ、「最上川」三ヶ瀬、「春の最上川」など、波のうねりや水面(みなも)の輝きを力強く描いた

上川・中をほはじめ、「最上川」三ヶ瀬、「春の最上川」など、波のうねりや水面(みなも)の輝きを力強く描いた

作品のほか、独自の表現を加えた「赤富士図」などが披露され、訪れる人を魅了している。十一月九日まで。

脱穀作業体験 昔の人に感心

山形市村木沢小児童 山形市の村木沢小(鈴木善晴校長)の五年生が十六日、近くの水田で昔の道具を使い、稲の脱穀作業を体験した。写真。



うと、数年前から地元の農家やPTAを「先生」に、農家から学校近くに水田を借り、生徒が田植

五人で三つの班に分かれて作業を行った。用意された道具は江戸時代から昭和にかけて使われた「千歯」や「足踏み脱穀機」など。子どもたちは道具を交代で使いながら、脱穀を体験した。足踏み脱穀機を使った奥山九の両日開かれ、参加した子どもたちが稲刈りなどを体験した。

子どもたちが農業に触れる 上山で教室 上山市の特定非営利活動法人(NPO法人)東北青少年自立援助センターの「さおう里山自然ふれあい教室」が十八、十九の両日開かれ、参加した子どもたちが稲刈りなどを体験した。

一環として今年五月から月一回開催しており、今回は県内外から十四人の子どもたちが参加した。初日は拠点となる「蔵王いこいの里」付近で山ブドウを探した後、永野地区の田んぼで稲刈りを体験。五月に植えた苗が成長した様子に「こりししながら、かまを使って刈り取った。また、天日干しのために、掛け作業にも取り組んだ。十一月に餅つきや試食会を開くという。

C型肝炎—最新治療学が

山形新聞社は、「市民公開講座C型肝炎—その最新治療を学ぶ」を開催します。C型肝炎を正しく理解し、医療の現状や最新の治療などを学びます。参加は無料ですが、聴講券が必要です。

中央病院内科医長

▽パネリスト「富樫整氏(山形大学保健管理センター教授)▽パネリスト「新澤陽英氏(公立置賜総合病院長、斎藤貴史氏、鈴木克典氏)

▽パネリスト「富樫整氏(山形大学保健管理センター教授)▽パネリスト「新澤陽英氏(公立置賜総合病院長、斎藤貴史氏、鈴木克典氏)

▽パネリスト「富樫整氏(山形大学保健管理センター教授)▽パネリスト「新澤陽英氏(公立置賜総合病院長、斎藤貴史氏、鈴木克典氏)

▽パネリスト「富樫整氏(山形大学保健管理センター教授)▽パネリスト「新澤陽英氏(公立置賜総合病院長、斎藤貴史氏、鈴木克典氏)

▽パネリスト「富樫整氏(山形大学保健管理センター教授)▽パネリスト「新澤陽英氏(公立置賜総合病院長、斎藤貴史氏、鈴木克典氏)

▽パネリスト「富樫整氏(山形大学保健管理センター教授)▽パネリスト「新澤陽英氏(公立置賜総合病院長、斎藤貴史氏、鈴木克典氏)

▽パネリスト「富樫整氏(山形大学保健管理センター教授)▽パネリスト「新澤陽英氏(公立置賜総合病院長、斎藤貴史氏、鈴木克典氏)

山形で「公開講座」

0人に聴講券を送ります。〒990-8550 山形市旅籠町2の5の12 山形新聞社事業部「C型肝炎セミナー」係。電話023(642)7955(土、日曜、祝日を除く午前9時半~午後5時)、ファクス023(634)32109、Eメールはkannen@yamagata-np.jp ※申し込みいただいた方の個人情報保護法に基づき、聴講券発送にのみ使用させていただきます。

「蔵王いこいの里」を拠点に、不登校の児童・生徒や社会になじめない若者らの自立を支援。ふれあい教室は自然との触れ合いから子どもの感受性などをほぐすむらいがある。

マタギ集落の秋 体験しませんか

小国で1泊2日

「マタギ集落の四季体験ツアー 秋編」が来月八、九日の一泊二日の日程で小国町小玉川地内で開かれる。町産業振興課

くろろろろ

主菜の審査会も

恒例イベント「食の祭典」から派生した企画。地域の家庭料理などを持ち寄り、郷土の食文化を再認識しようという取り組みで、これまで五回にわたって数多くの「我家(おらえ)のごつお」が披露されてきた。主催

来月販売へ

「かかし弁当」は、同センターを会場に十一月二、三の両日に開かれる市総合産業まつりで限定

▽秋サケのきのこのあんかけ▽サケと野菜の焼きびたし▽鶏肉の梅干し蒸し—の三品が審査会に登場。採用が決まっているメニューとの食べ合わせなどを考慮しながら、約三十人の市民らが試食した。審査の結果、サケと野菜の焼きびたしが最優秀賞となった。実行委ではこのメニューをベースに、業者と検討しながらかかし弁当の一品に盛り込むという。

地域の情報お知らせください